

平成 25 年度リーダー研修会

## 遠野市議会議員団と語る会議事録

と き:平成 26 年 2 月 10 日(月)

ところ:あえりあ遠野交流ホール

出席議員

議長	新田 勝見議員
副議長	浅沼 幸雄議員
総務常任委員長	菊池 民彌議員
教育民生常任委員長	菊池 巳喜男議員
産業建設常任委員長	多田 誠一議員
広聴広報常任委員長	瀧澤 征幸議員

市婦協(日赤奉仕団団員)

4 5 名

テーマ

- 1 遠野市の少子高齢化と人口減少について
- 2 地区センターのあり方について
- 3 婦人会の活動について
- 4 その他

会長挨拶 : 天候の悪い中また多忙の中お集まりいただきありがとうございます。議員の方々御多忙中本当にありがとうございます。昨年が続いて2回目の開催となる。会員の皆様方には、議員の方々へ忌憚のない意見を出していただきたい。また、地域の活動も紹介していただき議員団にも理解していただきたい。また今日の話し合いのすべてを上部へ進言していただきたいということだけではなく、肩肘の張らないザックバランにキャッチボールの意見交換会をしていただきたい。

議長挨拶 : 昨年に引き続きリーダー研修会は2回目で、参加の方々のお顔を拝見すると、それぞれ地域のリーダーの方々であり、皆さんには敬意を表する。私たちは 10月に審判を受ける時期になっており、出席議員 6人がいるので、平等にキャッチボールができればいいし、また皆さんには、この研修会が実のあるものになればと思う。また、議会の活性化を図らなければならないが、一番大事なことは議会に若い人、女性を送り込んでもらわなければならないと思う。これが課題。婦人会の皆さんも一

緒に考えていただきたい。若い人が議員となって活発な議会になればと思う。春と秋に地域懇談会を実施し、地域の課題を取り上げて色々解決して行こうと進めている。今年は私でなく別の方の出席と思ったが、市婦協の御要望なので、昨年より1名多い6名で出席したので、よろしく願います。

## 議員紹介

### < 1 遠野市の少子高齢化と人口減少について >

進行：会長から先に話しをさせていただき、次に各理事から、最後に議員団からご意見を頂きたい。

会長：少子高齢化の問題は、遠野市でも避けては通れない。遠野の人口も減少してきている。12月末現在の人口は29,401名で、死亡する者に比べ生まれてくる人が少ない。結婚する年齢になっても結婚する者が少ない。結婚式に招待される機会が少なくなった。高齢者が町を維持している。

上郷：市の少子高齢化が進んでいる。若い人が少ない。遠野で生まれ育った人は、遠野で仕事ができ、生活できればいいと思う。若い働く人への住宅の提供や冬期間の燃料費の支援補助とか考えてほしい。遊ぶところもない。若い人が住める街を作れば、遠野に来て住みたいと思う人も増えるのではないかな。いろんなことが考えられるが、働く場所が一番。親が自信を持って地元に残るように進められる環境づくりを。出会いも増えるのではないかな。

土淵：希望である。土淵町に富士ゼロックスの会社が入っている。交賀会があってお料理作りのボランティアをした。若い人も何人かいた。遠野の女性と、東京から来た人との交流、イベント等出来ないかな。よければ遠野に移住してもらおう。土淵には研修の場として来ているが、雇用の場として、収入、生活の場になって、人が増えればいいなあとという夢を持っている。

瀧澤議員：広聴広報係で年4回議会だよりを出している。議会改革を図るため常任委員会となった。少子化対策は難しいが避けて通れない。統計学上30年後、市の人口は1万7千人に減ると見込まれる。それに抗うためには皆さんと一緒に取り組まなければならない。リニアコライダーみたいな事業が来ると人口増になるが、遠野市にどのくらい影響するかは未確定である。心の財産、元は教育なのではないかな。家庭教育、ふるさとの郷土芸能、文化を大切にすることが大事。

巳喜男議員：保育の集いが開催され、園児150余人が素晴らしい演技をした。子供

たちが少なくなってきたなと思いながら拝見した。市長演述の中で、少子高齢化対策には、雇用の場の確保が大事と認識した。間もなく遠野高校、緑峰高校の生徒が卒業となるが、遠野に卒業生の4分の1しか残らない。子供たちは残りたいが、希望する職がないということを出ていかざるを得ない。残念なことである。地方交付金は人口にカウントされてくるので、人口減になれば財政的にも大変厳しくなる。この前、地元で作った豆腐を地元で作ったしょう油で頂いたが好評だった。富士ゼロックスの社員は年間千人ほど研修に来て、遠野に宿泊すると思う。農家民泊をやれば、農業以外の活性化になるのではないかと思う。受け入れ態勢を広げた方がよいのではないかと思う。地域の盛り上げにもつながる。

浅沼議員： 昨年も参加させていただいた。少子高齢化、日本全体の人口が減ってきている。遠野だけ現状維持という訳にはいかない。緑のふるさと協力隊事業は、毎年1人遠野に来ているが、結婚して遠野に残っている人が3人、未婚で遠野在住が3人で定着率は非常に良い。家娘、家息子が多く出会いの場をつくっても無理がある。緑のふるさと協力隊の定着率が良いのは、1年間遠野に生活しているので遠野の良さが分かるのではないかと思う。短期間では無理と思う。遊ぶ所にしても、4号線沿いのように作るのは無理。営業が難しい。遠野にあるもので楽しむ、あるいは遠野から出て楽しむ等、それぞれが楽しみ、生きがいを持って生きていくということが、他の人々にこの地域は楽しいところだということを感じてもらえるのではないかと思う。

議長： 年間3百人、人口減少してきている。ハード的には、子育て住宅を作り一生住みたいと思うようなことにしたい。高校を卒業すると皆出ていくので、専門教育の学校や大学があってもよい。子供たちを育てる施設が大事。出て行って就職し、彼女、彼氏を連れて帰ってくる事が一番いいが難しい。機会的に見ても足りない。他から連れてくるのが一番早い。誘致の企業を呼び込まなければならない。でくらす、交流人口の拡大、退職した人に遠野に住んでもらうことも大事ではないか。そのためには福祉環境も整えることである。

民彌議員： 地域に企業を誘致すれば良いがなかなか難しい。TKRも水沢に移転する。遠野の基幹産業は農業である。儲かる農業にしていかなければならない。法人経営で、創意工夫しなければならない。後継者を養成する必要がある。平成22年、30～55歳までの男性で未婚者1,372名(33.5%)、未婚者が多い。適齢期が過ぎれば結婚が難しい。テレビでお見合い大作戦を見たら結構カップルが成立しているので、行政

で見合い大作戦を行ってもよいのではないか。ILCができれば、人口減の歯止めになるのではないかと期待される。

多田議員：人口が減っていくということは全国的である。どこへ行っても戦いである。市の中でどうしていくのか、住宅を作り定着させる。人口が減っているところに企業はこない。自分たちの地域で得意な分野を開発推進していく。足りない部分は行政から派遣してもらうこと。今よりもこの水準を下ろさないよう何とか頑張らなければならない。地域で支えるシステムを作る。人材が必要。育てる、外部から連れて来る。産業に結び付く力が必要。若い人の中には農業に関心を示す人もいるので、そういう人を大事にしていく。中と外、両方を大事にしていかなければならない。地域は皆で守っていく。

会長：意見交換をしていきたい。

宮守：少子高齢化、いまいまの事を考えていかなければならない。議員の任期中に2組結びつけてもいいのではないか。

議長：最近結婚式も少なくなった。見合いをさせようとしても、女性が来ないので、そこまでも行かない。まち婚等、出会いの場をつくってとにかく集まるきっかけを作る。農業委員も頑張ったこともある。

青笹：農業委員をやっている。農業委員に女性が4名いる。農家の花嫁探しをやっている。男女の独身データを100数件まとめた。それをどのように縁結びに結びつけようか考えている。メディアに手を挙げているが順番待ちの状況。シルバーで結婚相談所を設けているが個人情報の兼ね合いもあり難しい。男性も積極的でない。異性に対する接し方を勉強する場があれば良いのかと思う。

## <2 地区センターのあり方について>

会長：市婦協から発言させていただく。

附馬牛：現在地区センターに主事、所長、活動専門員の3人がいる。所長はこれまで所長経験してきた人なので、非常勤の所長でもよくやってくれる。非常勤の所長から新しい所長に変わったとき私たちは困る。非常勤の所長はどこまで責任が取れるのか、給与体系はどうなっているのか。将来、他地区に増えていくとしたら、所長には負担が重いのではないか。

土淵：土淵の場合、所長、主事、活動専門員がいるが、どこの地区センターも同じだと思っていたが、非常勤の所長というところがいくらあるのか。自分たちだけで事業をするのは大変である。センターから依頼されると婦人会活動も声掛けがしやすく有効。

宮守：合併になったときから、支所の空きデスクが増えてきているようだ。婦人

会活動等に総合支所全員で支援してくれる。これ以上支所が減少されたら大変。

綾 織 : 現在、地区センターにほとんどの事業を依存しており、地区センター無しでは事業が出来なくなっている。所長が一般の人になれば綾織は麻痺してしまう。市の職員を1名は配置してほしい。

青 笹 : これまで、おんぶにだっこの状態でやってきているので縮小しないで、これまで通り存続してほしい。

議 長 : 9地区に地区センターがある。地域の活動拠点であるので、無くしてはならない。非常勤の地区センター所長の決裁権はなく、市民センターにある。ただし、今後もこのようなことは考えられることである。

巳喜男議員: 旧宮守の方から先般言われたが、旧遠野市では各町に地区センターがあり、ありいろいろやってくれている。しかし、宮守町には宮守、達曾部、鱒沢の3地域があるのに、地区センターが1か所にしかないので、自分たちで全て主体的にやっているが、不公平なのではないかと言われた。

民彌議員 : 以前からいろいろ課題はあった。職員数が減ってきていることから検討していかなければならない。所長と主事が一緒に異動ということになれば問題であるが、そのようなことはないと思うので、あまり心配することではない。以前、所長は民間からということもあったが、この提案は変更になった。附馬牛はテスト的なものである。いずれは移行するのではないかと個人的に考えるが、推移を見てほしい。

青 笹 : 他から来た者であるが、感じた点を話したい。地区センターに相談したり利用したりするとき、行政と地域のつながりが強い。遠野の一番いいところであり、地域の中のリーダーもしっかりしている。組織がしっかりしている。市として地区センターに重点を置いているから情報が伝わってくる。地域と行政との要になってくれる人がいることが強みだと思う。人に趣きをおく遠野市であってほしいと思う。

### <3 婦人会の活動について>

会 長 : 婦人会及び日赤奉仕団活動について、映像で説明。その後議員団から意見を伺いたい。

瀧澤議員 : 婦人会はこうありたいという意見があるのかと思ったが…。男の側から見ると女性の力がないと活動出来ない。活動ができるのは良き理解者があること。

巳喜男議員: 女の力が地域の盛り上がりが必要。高齢化も大変で施設に入れないで家族が世話している。施設入所希望の待機者が180人余りいる。そ

れらに対し施設を増やすことも大事ではないかと思う。婦人会も考えて欲しい。

浅沼議員：やりたい人たちがやりたい事をやりたいときにやるのがよいと昨年も言った。昔は小学校中心に人が集まった。それがなくなり自治会活動ができた。それより青年会活動、婦人会活動は歴史がある。今はなかなか人が集まらず活動が停滞する等、同じ悩みを抱えている。自己満足な部分があるのではないのか。今リーダーの仕事は後継者を育てることが大事なのではないか。

民彌議員：いろいろな行事に参加していただきありがとうございます。なかなか後継者が見つからない停滞している地区もある。これが長い間の懸案事項なのではないかと思う。部落の集まりに婦人会がないため協力を得られない。

多田議員：以前は婦人会の活動は活発であった。働く婦人が増えて、婦人会会員が減った。いざという時に中心となるのが婦人会なので、何とか活発な婦人会になるよう我々も協力したい。

議長：青年会の会長もやったが、その頃、青年会も婦人会も中心的存在だった。若い人は少なくなり存在感が薄くなってきた。今大きな組織は老人クラブで3千人の規模である。婦人の役割を充分保ちながらやっていただきたい。全ての活動において婦人会が入らないと何事も出来ないのかなあと思っている。自分の好きな事を仲間とやることにより、いろいろ経験出来る。リーダーは悪口を言われるが頑張りましょう。地域に根ざした活動をやっていただくことを希望する。

#### <4 その他 フリートーク>

会長：ここからはフリートークです。意見をどんどん行ってください。

青 笹：1月22日に事業所との地域見守り協力隊の締結式があり、一人暮らしの見守りが開始された。その後の27日、一人暮らしの40代の男性が自宅で亡くなっていた。このようなこともあり、事業所との地域見守りは、いい取り組みなので、近隣でも声掛けをしていきましょう。事業所での通報基準を設けたらどうか？議員各位にも働き掛けをお願いしたい。

多田議員：新聞配達の人、ヘルパーの人が発見した件がある。発見したら、すぐ駐在に連絡するのが一番。

宮 守：宮守は東和町の図書館が近いが、遠野市民は利用できない。近隣市町村に利用させてもらえないか？交流できるように要望である。

議長：いろいろな場所を研修させてもらっているが、市婦協の皆さんに議場を利用して、女性による模擬議会を企画して見てもよいのではないか。そういう中から女性議員も出てくるのではないかと期待し提案したい。

会 長： 仮設住宅は、あと1～2年で退去しなければならない。後期高齢者も入っているが、このまま遠野に居たいが何とかならないものかという相談があった。

浅沼議員： 被災地から仮設に来ているが、被災地に戻らない事になると被災地の人口減少が加速し、問題が生じる。受け入れ態勢の問題もある。被災地の自治体との兼ね合いもある。仮設は取り壊さないで有効活用するという当局の考えである。